

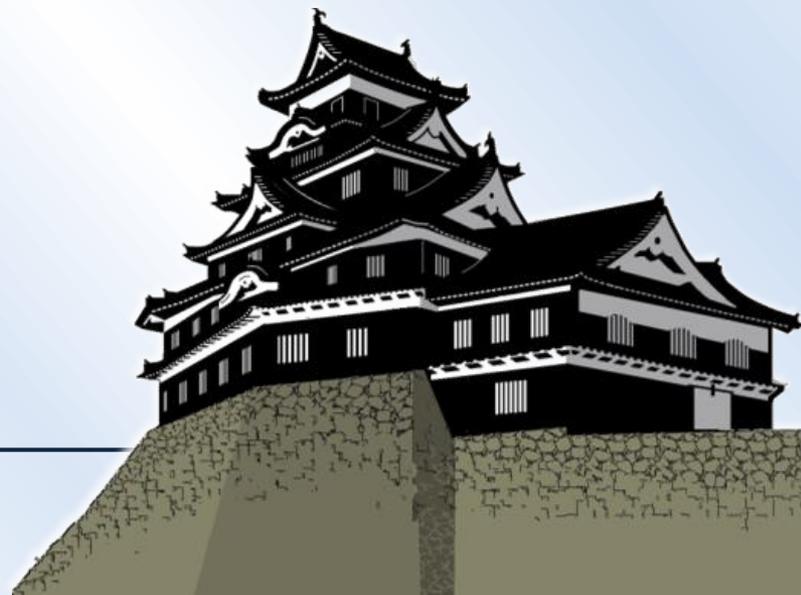
岡山型持続可能な 社会経済モデル構築総合特区

～AAA（トリプルエー）シティ岡山の推進～



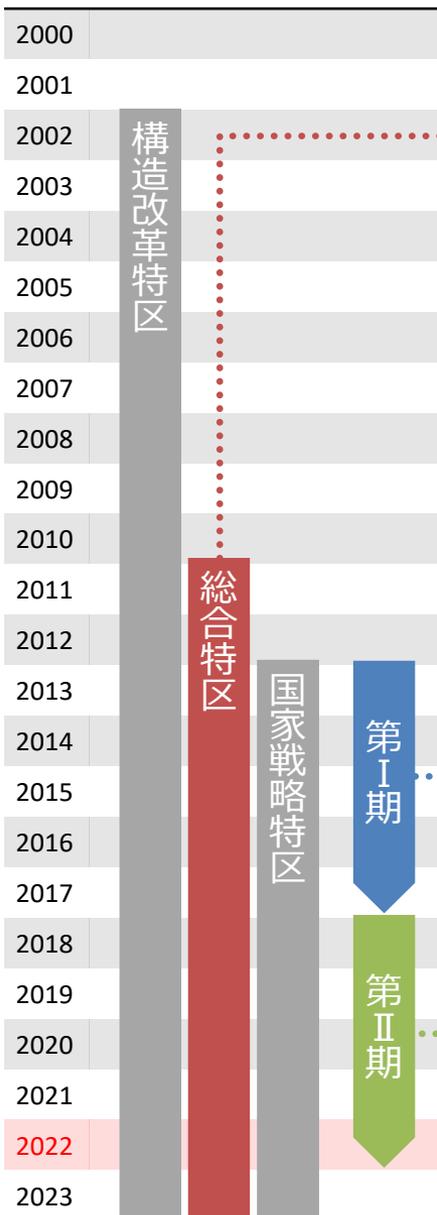
岡山市
OKAYAMA CITY

医療政策推進課 医療福祉戦略室



1 目次

項目		参照ページ	主な対象	事業案内の時期
1	総合特区事業の概要	2～5ページ	全事業所	
2	高齢者活躍推進事業	6～7ページ	通所介護	5月頃
3	デイサービス改善インセンティブ事業	8～9ページ	通所介護	5月頃
4	訪問介護インセンティブ事業	10～11ページ	訪問介護	4月頃
5	最先端介護機器貸与モデル事業	12～13ページ	居宅介護支援 ・介護予防支援	通年実施
6	介護ロボット普及推進事業	14～15ページ	全事業所	前期：6月頃 後期：10月頃



地域活性化総合特区

地域課題の解決のため、地域の取り組みに応じて規制の特例措置（規制緩和・財政支援・金融支援・税制支援）を区域限定で実施

提案

認定



岡山市
OKAYAMA CITY

岡山型持続可能な社会経済モデル構築総合特区

- 平成25年2月指定 愛称「AAA（トリプルエー）シティ岡山」
- コンセプト『**高齢者が、介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができる社会の構築**』
＝ 自立支援に重点を置いたケアを推進し、高齢者の在宅生活維持を支援（在宅介護特区）

第Ⅰ期

平成25年2月
|
平成30年3月

在宅生活の支援
状態像の維持改善の
推進 = 身体の「自立」

① 将来負担の抑制

- 通所介護サービスに対する質の評価の導入
- 介護予防ポイント事業

② 在宅介護支援の拡充・産業集積

- 最先端介護機器貸与モデル事業

③ 地域包括ケアの実現

- 訪問看護・介護事業者に対する駐車許可簡素化
- 医療法人による配食サービスの実施

利用者
(高齢者)を
元気にする

第Ⅱ期

平成30年4月
|
令和5年3月

在宅生活の支援
状態像の維持改善の
推進 = 身体の「自立」

活躍推進 = 精神の
「自立」

① 生涯現役社会づくりの推進

- 高齢者活躍推進事業

② 自立支援と介護給付費・医療費の抑制

- デイサービス改善インセンティブ事業
- 訪問介護インセンティブ事業

③ 高齢者・介助者・介護従事者の支援

- 最先端介護機器貸与モデル事業
- 介護ロボット普及推進事業
- 認知症情報共有事業

元気に
なった
利用者が
活躍する

岡山型持続可能な社会経済モデル構築総合特区

～AAA（トリプルエー）シティ岡山～

Ageless

介護が必要にならない
期間（健康寿命）を延伸

Active

元気な高齢者が地域で活動でき、
安心して消費ができる社会の実現

Advanced

先端機器活用による
新たな在宅ケアを構築

「自立支援」に重点を置いたケアの推進

高齢者の在宅生活維持を支援

状態改善・介護の質の評価

通所介護

訪問介護

活躍推進

最新介護機器の活用

利用者向け

事業所向け

デイサービス改善
インセンティブ事業

訪問介護
インセンティブ事業

高齢者活躍
推進事業

最先端介護機器
貸与モデル事業

介護ロボット
普及推進事業

取組成果を全国へ波及（規制緩和・制度創設を国へ要望）

最先端機器貸与モデル

貸与13種目でない最新機器を高齢者に1割負担で貸与。効果を検証し、国へ種目追加を要望



介護機器業者



介護ロボット普及推進

介護従事者の負担軽減や介護の質向上に資する介護ロボットを事業所に3か月間、試行的に無償レンタル。

デイサービス改善インセンティブ

デイサービスの質をストラクチャー・プロセス・アウトカム視点から評価し、上位事業所を表彰。

高齢者

要介護となっても住みなれた地域で生活



訪問介護インセンティブ

訪問介護とリハ職のマッチングを行い、同行訪問によるアセスメントを実施して介護の質を向上。

地域



PT・OT



企業



地域団体

在宅生活
支える機器
レンタル

福祉用具貸与



機器・ロボット導入で
従事者負担軽減・介護の質向上

「自立」意識
したサービス

訪問介護



同行訪問
アセスメント実施

デイサービス



「自立支援」に重点を
置いたサービス

介護事業所

地域で就労・社会参加

仕事を依頼

高齢者活躍推進

介護事業所において「就労・社会参加活動」を実施するために、市内事業所向けにWSを開催し、課題や手法について検討。

岡山型持続可能な社会経済モデル構築総合特区

～AAA（トリプルエー）シティ岡山～

「自立支援」に重点を置いたケアの推進

高齢者の在宅生活維持を支援

第Ⅰ期

平成25年2月～平成30年3月

デイサービス改善
インセンティブ事業

介護予防ポイント事業

【市民向け】最先端介護
機器貸与モデル事業

医療法人による配食事業

駐車許可の簡素化

第Ⅱ期

平成30年4月～令和5年3月

訪問介護インセンティブ事業

【介護事業所向け】
介護ロボット普及推進事業

高齢者活躍推進事業

認知症情報共有

第Ⅲ期

令和5年4月～令和？年

検討中

介護事業所の皆様に、新たな
規制緩和等に関するアンケート
を実施させていただく場合があ
りますので、その際には可能な
範囲で回答にご協力ください



状態維持・改善
介護の質の評価

最新介護機器
の活用

活躍推進
就労・社会参加

規制・運用の
見直し

6 高齢者活躍推進事業の概要

- 社会参加活動や就労活動は、高齢者の方の「生きがい」につながるものであり、要介護であるか否かを問わず、社会参加活動や就労活動を望む方にはその場が用意されていることが、地域社会には求められています。
- 岡山市では、高齢者が要介護状態になっても、いつまでも住み慣れた地域で生きがいを持って暮らしていけるように、介護事業所で社会参加活動や就労活動が可能となるような取組や啓発活動等を実施します。

高齢者

「お世話が必要な人」扱いはイヤ！



周囲から認められたい！

レクリエーションしかやらない事業所には行きたくない…

能力を活かして社会貢献したい！

アセスメント

- 本人の能力
- 本人の希望
- 必要なケア
- 生活環境 など

介護事業所

事業所が提供できるサービスを検討
(例)

- 屋内での軽作業（箱折等の内職）
- 事業所周辺の見守りや清掃
- 周辺の土地を活用し、しいたけやネギ等の農作物を栽培
- 農産物の加工や袋詰め
- パンやピザ等の製造や販売
- 事業所を食堂とし、調理や配膳
- 地元の観光案内

アセスメント内容と事業所の状況に加え、利用者本人の当日の体調・意向等を勘案し、事業所の中で就労・社会参加活動の提供を可能にしていく

形式にとらわれず、それぞれにとってメリットのあるサービスに！

高齢者

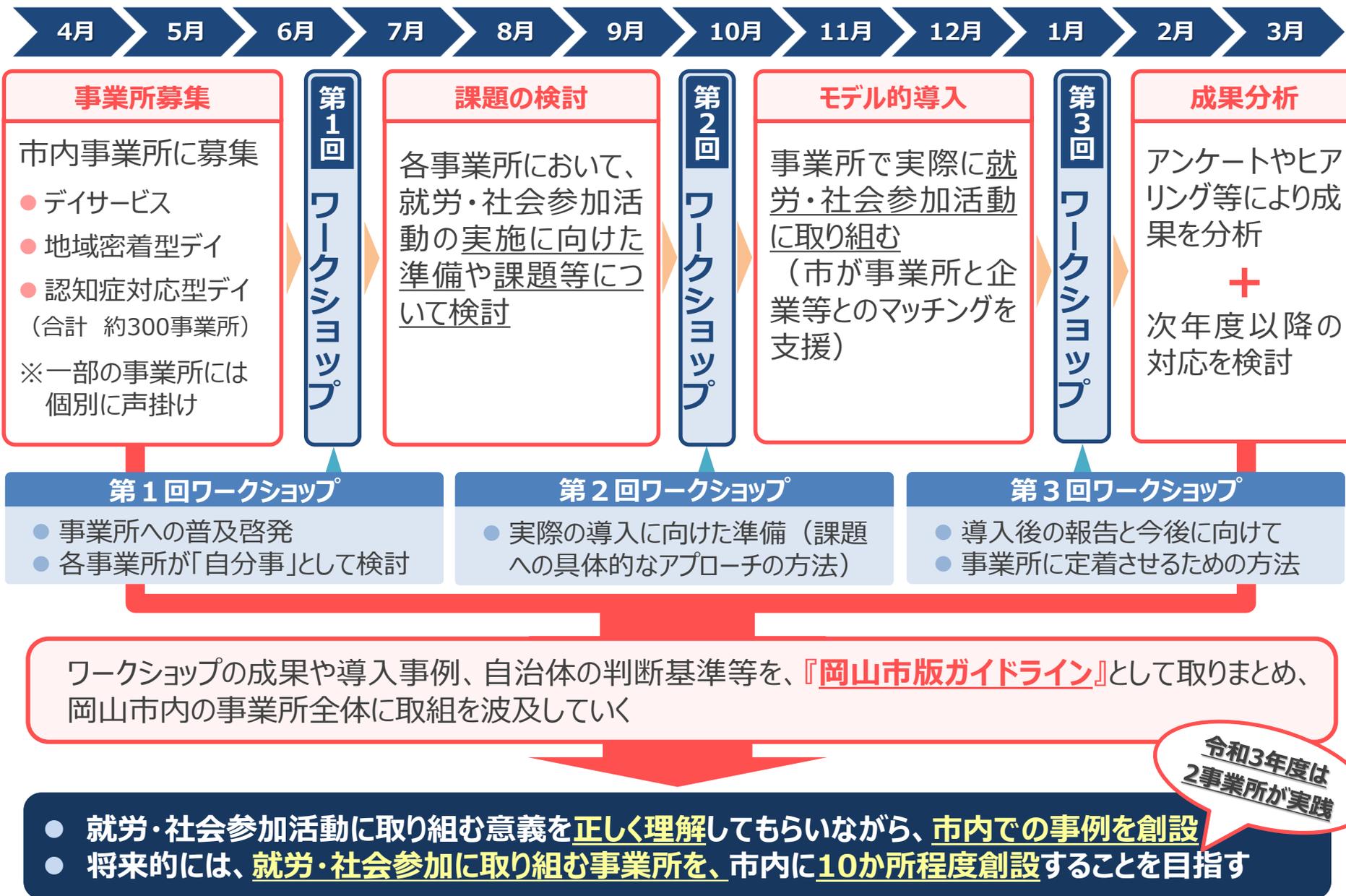
- 希望する社会貢献を実現し、生活に意欲を持てる
- 就労活動の場合、多少の収入を得られる
- 生きがいある生活が在宅生活維持のモチベーションに

介護事業所

- 地域や社会と交流を持つ評判の高い事業所に
- 利用者の希望に沿ったサービスで利用者との良い関係性を保てるため、職員のモチベーション向上

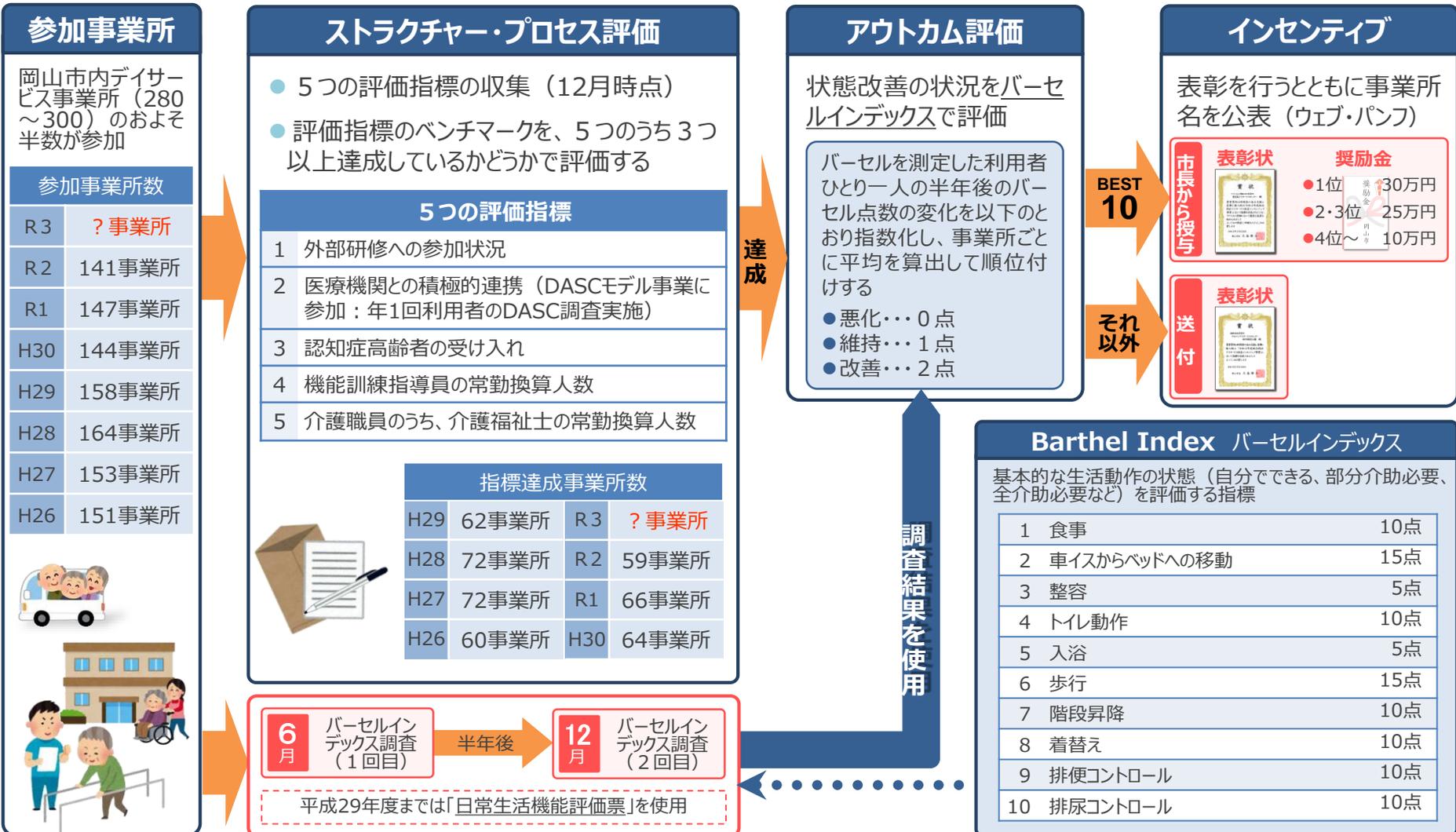
将来的には、高齢者が介護事業所に留まり続けるのではなく、地域が受け皿となり、社会参加・就労活動や、自主的な活動が可能になることが望ましい

7 高齢者活躍推進事業のスケジュール案



8 デイサービス改善インセンティブ事業の概要

- デイサービス事業所のサービスの質を評価し、取組や成果に応じてインセンティブ（奨励金・表彰状）を付与することで、利用者の方の状態改善に対する取組を後押しします。
- 具体的には、5つの指標でストラクチャー・プロセスを評価し、一定の条件を満たした事業所には表彰状を授与します。また、指標を達成した事業所のうち、アウトカム評価が上位の事業所には奨励金を付与します。



表彰式の実施

- 上位10位の事業所には、訪問介護インセンティブ事業と合同で表彰式を開催し、市長から賞状・奨励金を贈呈しています。



《奨励金の内訳》

第1位	第2・3位	第4～10位
30万円	25万円	10万円

パンフレットの作成

- 訪問介護インセンティブ事業とセットで、表彰事業所を紹介するパンフレットを作成し、関係機関への配布や岡山市のホームページへ掲載します。



《パンフレット配布場所》

- 福祉事務所
- 居宅介護支援事業所 等

～事業所からの声～

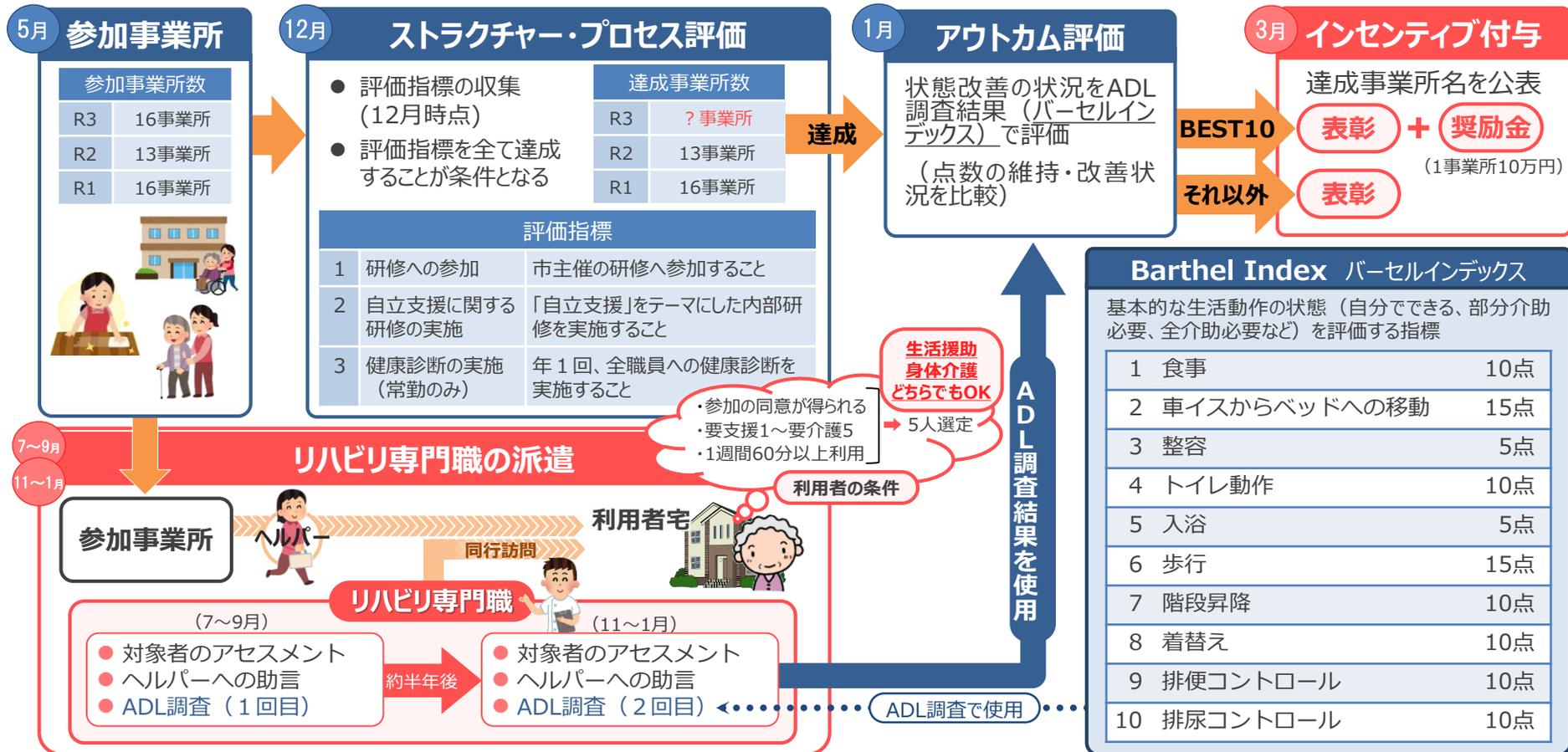
- 「デイサービス事業所が表彰される機会はほとんどないため、こういった事業を実施してくれることは、デイサービス事業所にとってとてもありがたい」
- 「この事業を実施してくれることで、利用者の状態像の維持・改善を図ることに対するモチベーションアップに繋がっている」など

～事業所からの声～

- 「自分の事業所をアピールできる機会は少ないので、このパンフレットを作成してもらうことにより、事業所をPRできるいい機会になっている」
- 「上位10位に入れなかったとしても、指標を達成すれば、表彰状がもらえたり、パンフレットに掲載してもらえるので、頑張る気持ちになれる」など

10 訪問介護インセンティブ事業の概要

- 介護保険制度においては、平成30年度から通所介護にADL維持等加算が新設されるなど、これまで以上に、高齢者本人の能力を活かし、身体状態の改善等により自立を支援する制度が求められています。
- 本市では、「デイサービス改善インセンティブ事業」として、通所介護において状態改善を促す取組を行っていたところですが、さらに、訪問介護においても、リハビリ専門職の知見を活用し、利用者の方の自立支援に繋げていくため、令和元年度から本事業を開始しています。
- 具体的には、5つの指標でストラクチャー・プロセスを評価し、一定の条件を満たした事業所には表彰状を授与します。また、指標を達成した事業所のうち、アウトカム評価が上位の事業所には奨励金を付与します。



表彰式の実施

- 上位10位の事業所には、デイサービス改善インセンティブ事業と合同で表彰式を開催し、市長から賞状・奨励金を贈呈しています。



《奨励金の内訳》

第1～10位

一律10万円

パンフレットの作成

- デイサービス改善インセンティブ事業とセットで、表彰事業所を紹介するパンフレットを作成し、関係機関への配布や岡山市のホームページへ掲載します。



《パンフレット配布場所》

- 福祉事務所
- 居宅介護支援事業所 等

～事業所からの声～

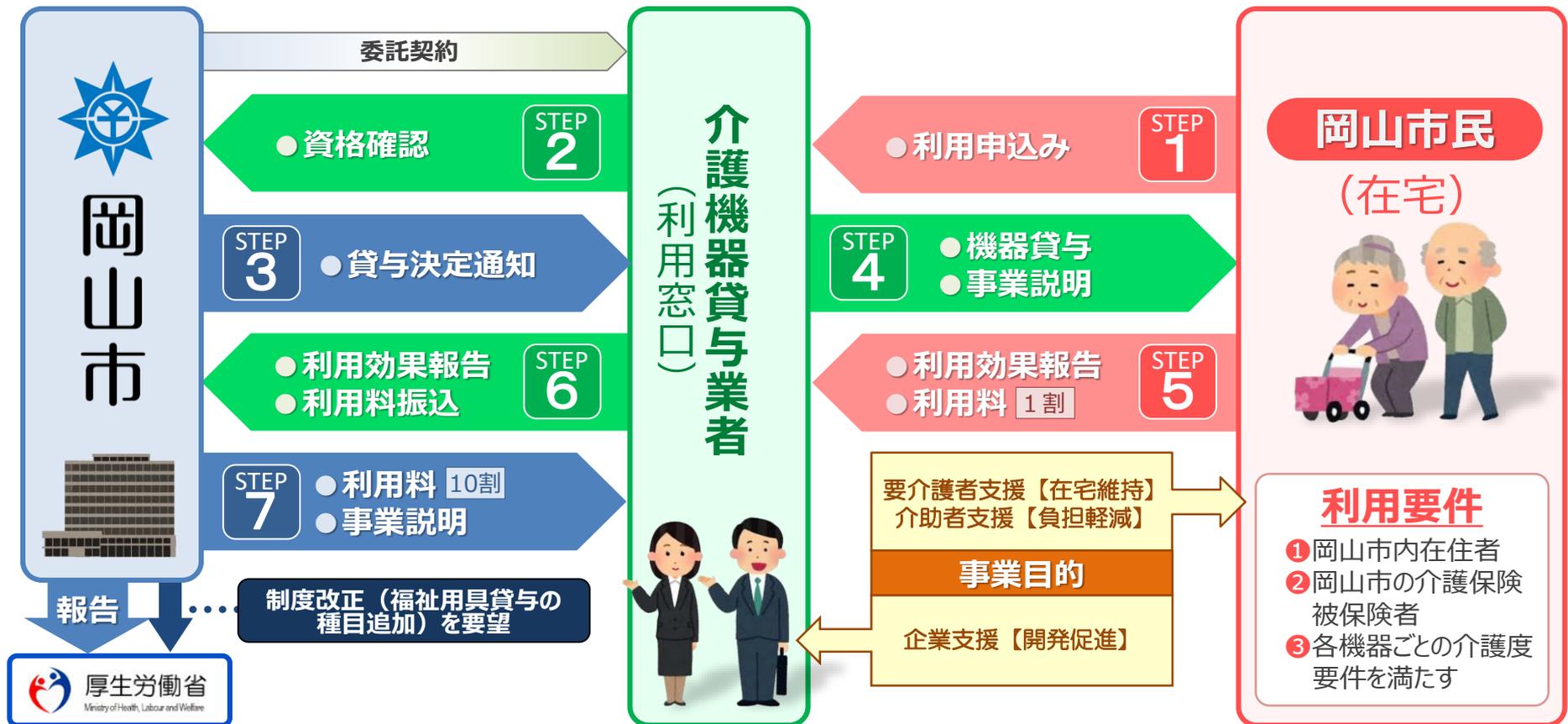
- 「訪問介護事業所が表彰される機会はほとんどないため、こういった事業を実施してくれることは、訪問介護事業所にとってとてもありがたい」
- 「この事業を実施してくれることで、利用者の状態像の維持・改善を図ることに対するモチベーションアップに繋がっている」 など

～事業所からの声～

- 「自分の事業所をアピールできる機会は少ないので、このパンフレットを作成してもらうことにより、事業所をPRできるいい機会になっている」
- 「リハ職の意見は、ヘルパーでは気付かなかった視点が多く、非常に有意義だった（とてもいい刺激を受けた）」 など

12 最先端介護機器貸与モデル事業の概要

- 在宅生活の維持に効果的な介護給付（福祉用具貸与）の対象となっていない最先端介護機器について、岡山市が貸与を行います。
- 具体的には、市内において在宅で生活する高齢者（要支援・要介護）の方に、福祉用具貸与の対象となっていない介護機器（5機器）を、1割の自己負担で貸与します。（介護保険は使用しません。）
- 貸与する機器は、全国から公募して選定しています。介護機器の取扱業者から貸与による利用実績・実態を報告してもらい、効果を検証した後、検証結果を基に国に福祉用具貸与の種目追加等を要望します。



契約台数に到達した場合には、新規貸出をお断りすることがありますのでご容赦ください

これまでに4回の公募を行い15機器を採用。令和3年度からは、各分野1機器、計5機器の貸出を実施しています。

- 日常生活支援
- 移動支援
- 排泄支援
- コミュニケーション
- 服薬支援

パワーアシストグローブ

ダイヤ工業(株)

空気圧ゴム人工筋をグローブ内に搭載し手指の「握る」、「開く」動作を支援。



1,700 円/月

パロ

大和リース(株)

AIを搭載したアザラシ型のコミュニケーションロボット



2,000 円/月

ACSIVE (アクシブ)

(株) トーカイ

下肢のふり出しと蹴り出しをやさしくアシストし、歩行をサポートする歩行訓練機器。



1,000 円/月

ラップポン

日本セイフティー(株)

排泄物を熱圧着により自動で密封・個包装し、排泄介護の負担を軽減する。



800 円/月

お薬飲んでね!

(株) 近畿メディカル

光と音による促し効果で、服薬の時間等を知らせる。家族の声を録音し、その声による促しも可能。



800 円/月

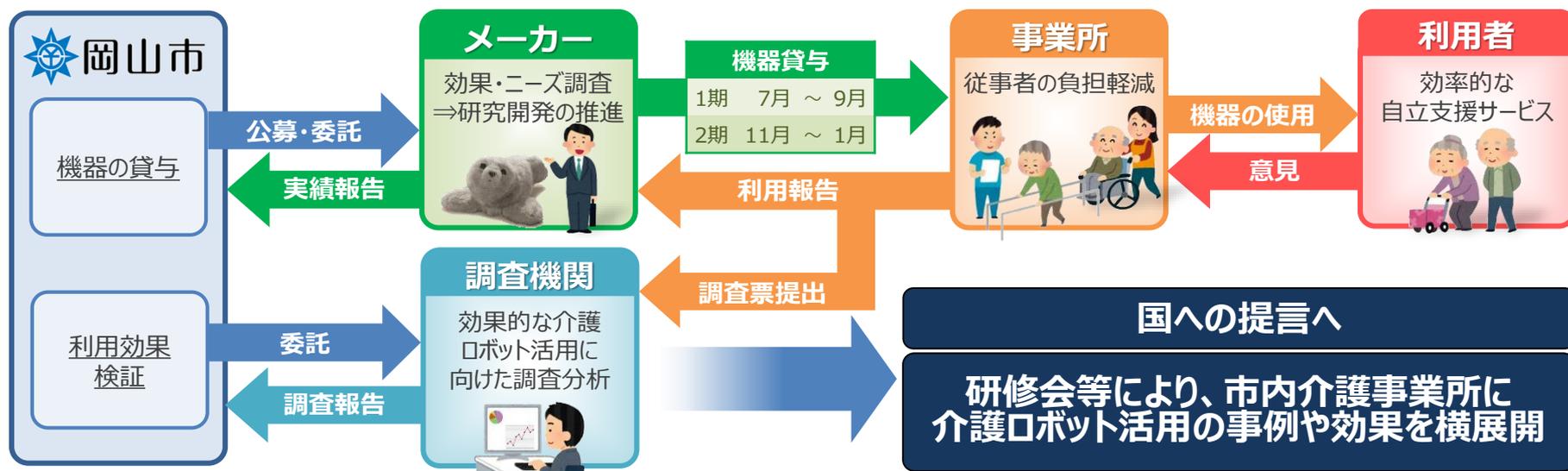
14 介護ロボット普及推進事業の概要

事業の狙い・背景

- 今後の人口減少と高齢化の進展により、更なる介護従事者の不足が見込まれています。
- そういった中、介護ロボットの活用による介護職員の負担軽減や、効果的な自立支援の提供が求められ、国も介護ロボットの普及を推進していますが、現状十分に進んでいるとは言い難い状況です。
- その理由として、介護ロボットは高額であり、効果が不明な状況では、容易に購入しにくいことが考えられます。また、補助金等を活用し、介護ロボットを導入できたとしても、介護ロボットが上手く使えず、すぐに使用されなくなるようなケースも散見されます。

事業の趣旨・内容

- 上記背景を踏まえ、本市では市内介護事業所に対し、無償で介護ロボットを貸与（3カ月間）することで、介護ロボットの市内事業所への普及や介護ロボット活用による介護職員のスキルアップを図ります。
- また介護事業所から提出される実績報告を元に、効果的な介護ロボットの活用を明確化し、国に制度化の提言等を実施します。



令和4年度は新たに機器を公募し、機器の入替を実施予定

【現在の貸与製品一覧と実績】

11社から13機器の応募があり、審査の結果、6社の7機器を選定

- 移乗支援 1
- 移動支援 1
- リハビリ支援 1
- コミュニケーション 2
- 見守り 2

N台…令和元年度貸出実績

N台…令和2年度貸出実績

HAL®

6台
6台

西日本メディカルリンク(株)

前傾・中腰姿勢の維持や体幹を起こす動作を補助し、腰部にかかる負担を軽減する。



PARLO®

10台
10台

日本基準寝具(株)

会話・レクリエーション・体操などを行うコミュニケーションロボット。



パロ

42台
20台

大和リース(株)

AIを搭載したアザラシ型のコミュニケーションロボット。



Honda歩行アシスト

本田技研工業(株)
4台

下肢のふり出しと蹴り出しをやさしくアシストし、歩行をサポートする歩行訓練機器。

令和元年のみ貸出実施



パワーアシストグローブEX

ダイヤ工業(株)
18台
1台

空気のかたで動く人工筋で手指の屈伸運動をサポートするリハビリ支援装置。



アイエイド2

(株)トーカイ
38台
14台

腕時計型の機器が脈拍を24時間連続で計測。複数の方がオンラインで確認ができる見守りシステム



見守りライフ

トーテックアメニティ(株)
48台
33台

既存のベッド脚に取り付けて、睡眠・体重・脈拍・呼吸に関する情報の取得ができる見守りシステム。

